

令和5年度第2回ユニバーサル就労推進協議会  
議事録

日 時	令和6年3月26日(火) 9:30～10:30
場 所	第二会議室(市庁舎8階)
参加団体	富士公共職業安定所、富士商工会議所、富士市民生委員児童委員協議会、富士地区保護司会、社会福祉法人富士市社会福祉協議会、公益社団法人富士市シルバー人材センター、富士市若者相談窓口運営事業受託者（NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡）、ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業受託者、ユニバーサル就労支援センター就労支援グループ運営事業受託者、富士市  ※欠席 富士労働基準監督署、富士市商工会、富士市障害者自立支援協議会(富士障害者就業・生活支援センターチャレンジ)、富士市ユニバーサル就労推進事業認定協力企業(富士センコー運輸株式会社)、
傍聴人	【議 員】なし 【新聞社】なし
発言者	内 容
委員	1 座長（福祉部長）あいさつ 2 連絡調整事項 令和5年度富士市ユニバーサル就労支援センターの運営状況について <span style="float: right;">【資料1】</span>  事務局から説明を行った  【意見、質疑等】  就労支援グループの運営状況の（2）支援対象者の年代別・男女別状況のうち60代や70代の方々が（3）支援対象者が抱える主な働きづらさにおいてどの項目に該当するのかが分かると非常に参考となると思うが、データはあるか。
事務局	60代以上の方がどの働きづらさに該当するかは集計していないので、改めて分析する。
座長	分析結果は改めてお知らせする。
委員	相談支援グループの運営状況の相談経路について、ウェブサイトからの相談が増えているが、何か工夫等はしたのか。
事務局	YouTubeに新たなPR動画をアップしたことに加えて、高齢者でもスマートフォンを持っている人が増えてきており、ネットで検索してから相談に来る方が増えてきていると感じている。

UW センター	<p>チラシにQRコードを付けていることも要因と考えている。また、昨年の11月に広報ふじにユニバーサル就労の特集記事が掲載されたが、この記事を見た後にウェブサイトを見て相談に来た方も多い。</p>
	<p>3 意見交換事項</p> <p>外国人市民への支援について <span style="float: right;">【資料2】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から意見交換事項の設定理由についての説明</li> <li>・ユニバーサル就労支援センターから外国人市民への支援の概況及び相談事例について説明</li> </ul> <p>【意見、質疑等】</p>
委員	<p>資料2に国籍別相談者数が示されているが、実際に富士市に住民登録のある外国籍の人数とはおそらく一致していないと思われる。ベトナム人は増えているはずだが、ベトナム人は基本的に技能実習の制度を利用しており、間に幹事組織が入っているため、相談をする必要がないと思われる。日本に何かを求めて入国してきたが、支援をする人がいない場合、職を探す方法が分からず家に引きこもってしまうという事例はおそらく多くあると考えられる、日本語に自信が無くてもできる仕事や、あるいは、外国人をサポートできる人材がいるなど、サポート体制のPRが重要だと感じた。</p>
委員	<p>外国人向けのウェブサイトの掲載状況はどうか。</p>
UW センター	<p>外国人向けのサイトは現状ない。 チラシに関してはFILSにて様々な言語に翻訳したものを作成している。また、UWセンターとFILSとで連携して、相談を繋げたりしている。</p>
委員	<p>相談に来る外国人の入国の経緯はどのようなものがあるか。入国の時点で問題を抱えているケースはあるか。</p>
UW センター	<p>在留資格を確認して就労が可かどうか判断をしている。収入が生活保護の基準に該当しそうな方については、生活保護という制度があることも紹介している。</p> <p>外国人の方は、日本の文化等に憧れて日本で生活したいという方が多く、かなりガッツがある印象がある。コミュニティ内で仕事についての情報交換しているようだ。</p> <p>入国する時点では、問題は抱えていないと思うが、慣れない生活環境の中で少しずつ困り事が出てくると思われる。</p>
座長	<p>ハローワークでは日頃の業務の中で、外国人の就労相談を行っていると思いますが、日頃感じていることや課題は何かあるか。</p>

委員	<p>なかなか仕事が決まらないという外国人の方が相談に来るが、一番の問題として、日本語でコミュニケーションが取れないことが挙げられる。企業の方に外国人の受入れができないか投げかけをしているが、日本語でコミュニケーションを取れないと困ると言われることが多く、通訳を置いている企業も少ない。日本語が話せるということで来所した方を紹介はするが、話せるだけでは不十分で、特に製造業で危険を伴う現場では注意表示は日本語で書かれているので日本語を読むことができないと厳しい。様々な言語で翻訳して貼り出しをするというところまでは手が回らないようだ。また、報告書類を書面で作成しなければならない所も多く、日本語を読むことができ、かつ、書けることが求められる。場合によってはパソコンで報告書類の作成を求められることもある。</p> <p>比較的家族がいる方が相談に来ることが多く、収入も30万程度を求める方が来られるが、日本語の読み書きの部分がネックとなってしまう就労が難しいようだ。外国人の受入れは進んではいるが、中小企業では外国人の受入れ実績がほとんどないような所もあり、受け入れるとしても、幼少期から日本に住んでいるような日本での生活歴が長い方を雇いたいと言われてしまう。日本に来て数年しか経っていない方だと紹介してもなかなか就職が決まらない状況である。</p>
座長	<p>商工会議所では、外国人の相談に対応している中で何か感じていることはあるか。</p>
委員	<p>会員の企業の中で外国人を受け入れている所もあり、その担当者からは、勤勉で仕事熱心であり非常に助かっているという話を聞いている。日本語は日常生活に問題ないレベルではあり、ひらがなやカタカナまでは対応できるが漢字が苦手なことがネックになっている。企業の担当者から、日本語を学べる講座が近くにあればいいという話があったため、FILSを紹介したが、事業所が市の東部地域にあり、FILSまで通わせるのは心配なので、事業所の近くに日本語を学べる場があればありがたいという話を聞いている。</p>
座長	<p>外国人を雇用するにあたっては様々な課題があり、企業側が全てクリアするのは非常に困難であるが、支援センターとして何かフォローできるようなことはあるか。</p>
UW センター	<p>外国人の相談者を協力企業に繋げる際に、日本語が全く分からないと難しいと感じている。日本語の講座を開いている団体と繋がりができればいいと考えている。</p>
事務局	<p>富士センコー運輸は本日欠席だが、外国人の受入れについて富士センコー運輸から話を聞いているので説明させていただきたい。</p> <p>日系三世の方を4人雇用しており、正社員が1人、フルタイムのパートが2人、障害者が1人となっている。年齢構成としては、40代が2人、20代が2人となっている。課題としては言葉の壁が大きく、40代の方については、日本語の読み書きはある程度できているが、20代の方については、大半を翻</p>

事務局	<p>訳機を使ってやり取りをしているとのこと。</p> <p>富士センコー運輸では、ブラジル人を多く雇用してきたが、以前、中国人を1人受け入れたが、他の社員との疎外感を感じたためか3ヶ月程度で退職をしてしまった。社員どうしでコミュニティができれば定着率が高まるのではないとのこと。</p> <p>言葉の問題とも関連するが、年末調整等の日本独特の書類作成が外国人にとって高いハードルになっていると考えられるとのこと。そのため、外国人が日本語の読み書きを学べる場があればありがたいと伺っている。</p> <p>外国人はタトゥーを入れている人が結構おり、富士センコー運輸は女性も多い職場であるため敬遠される可能性があると感じているとのこと。</p> <p><b>【閉会】</b></p>
-----	--